

富津市学校給食運営委員会議会議録

1	会議の名称	平成24年度第1回富津市学校給食運営委員会議
2	開催日時	平成24年7月24日(火) 午後2時30分～3時50分
3	開催場所	富津市役所 3階 303会議室
4	審議等事項	(1) 学校給食費の滞納状況について (2) 学校給食用食材の放射性物質検査について (3) 学校給食調理場のあり方について (4) その他
5	出席者名	(委員) 平野英男、岡根茂、柴本一郎、平野延雄、 庄司健一、沢辺敦子、平野順子 (事務局) 渡辺教育長、川名教育部次長、高梨学 校教育課主幹、木村給食係長、秦野副主査、藤平 栄養士、川名事務補助員
6	公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)
8	傍聴人数	0人(定員5人)
9	所管課	教育部 学校教育課 給食係 電話 0439(80)1343
10	議会議録(発言の内容)	別紙のとおり

平成24年度第1回富津市学校給食運営委員会議 会議録

発 言 者	発 言 内 容
高梨主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・開会を宣言する。 ・委員10名中3名が欠席だが、富津市学校給食調理場管理運営規則第11条第2項の規定により会議が成立すること及び本会議の内容について、富津市情報公開条例第23条の規定により公開となることを説明する。
渡辺教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長挨拶
高梨主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・全委員に自己紹介を依頼する。
全委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介
高梨主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局は、資料巻末の席次表により確認を依頼する。
川名次長	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第の3、委員長・副委員長の選出について依頼する。 ・選出について説明する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 前委員の任期が平成24年6月30日をもって、全員任期満了となった。 2. 前委員長・前副委員長が退任となった。 3. 富津市学校給食調理場管理運営規則第10条第1項の規定により、委員の互選により選出する。
岡根委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局に案はないか質問がある。
川名次長	<ul style="list-style-type: none"> ・慣例として、委員長は学識経験者、副委員長は校長代表となっている旨説明する。 ・今回も委員長を学識経験者の平野順子委員に副委員長を校長代表の岡根委員にお願いしたい案を説明する。
全委員	<ul style="list-style-type: none"> (異議なしの声、多数有り)
川名次長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局案のとおりとして良いか、確認する。
全委員	<ul style="list-style-type: none"> ・拍手により同意を表明する。
平野委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・就任挨拶
岡根副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・就任挨拶
高梨主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・富津市学校給食調理場管理運営規則第11条第1項の規定により委員長が議長となるため、会議の進行を依頼する。

平野委員長

- ・ 会議録署名人に平野英男委員を指名する。
- ・ 会議次第の 4 (1) 学校給食費の滞納状況について事務局の説明を求める。

木村係長

- ・ 学校給食費の滞納状況について報告する。
 1. 11 ページ、平成 23 年度現年度分を説明する。
 - ① 調定額 202,401,183 円
 - ② 収入額 201,640,488 円
 - ③ 未納額 760,695 円
 - ④ 収納率 99.62%
 2. 12 ページ、平成 22 年度現年度分を説明する。
 - ① 調定額 202,160,290 円
 - ② 収入額 201,060,348 円
 - ③ 未納額 1,099,942 円
 - ④ 収納率 99.46%
 - ⑤ 23 年度対 22 年度増減 0.16% 収納率の増
 3. 13 ページ、平成 23 年度過年度分を説明する。
 - ① 調定額 6,986,647 円
 - ② 収入額 625,056 円
 - ③ 未納額 6,361,591 円
 - ④ 収納率 8.95%
 4. 14 ページ、平成 24 年度滞納額内訳を説明する。
 - ① 滞納額合計 7,122,286 円
 5. 15 ページ、富津市債権管理条例について概略を説明する。
 6. 21 ページ、富津市債権管理条例施行規則について概略を説明する。
 7. 26 ページ、富津市学校給食費徴収規則について概略を説明する。
 8. 平成 23 年度給食費滞納整理状況について説明する。
 - ① 臨戸徴収 68 件 徴収金額 289,969 円
 - ② 子ども手当からの特別徴収

	<p>対象件数 75 件 徴収金額 335,087 円</p> <p>③ 休日滞納整理 113 件 徴収金額 0 円</p>
平野委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第の 4 (2) 学校給食用食材の放射性物質検査について事務局の説明を求める。
木村係長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 30 ページ、学校給食用食材放射性物質検査事業実施要項について説明する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 千葉県教育庁が実施する学校給食用食材放射性物質検査事業により検査を実施する。 2. 検査場所は、木更津市の南房総教育事務所で実施する。 3. 検査対象食材は、調理前の原材料であり、牛乳・水・乳児用食品は検査対象外である。 4. 検査は、月曜日から金曜日までの週 5 日である。 5. 1 日最大検査数は 12 検体であり、1 団体あたりは 3 検体である。 6. 富津市は、1 月当たり 6 検体の検査を実施しており、今後も継続して実施する予定である。 ・ 29 ページ、富津市が現在までに実施した 12 検体の検査結果について、全て放射性セシウムは不検出であったことを説明する。
平野委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告(1)及び(2)についての質問を求める。
平野英男委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食費の収納状況について、23 年度分が 22 年度分に比べて 0.16% 上昇しているが、臨戸徴収や子ども手当からの徴収が反映しているかの質問がある。
木村係長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に子ども手当からの徴収が大きく反映した結果となったことを回答する。
岡根副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11 ページの共同調理場の数値は、何を示しているのかの質問がある。
木村係長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同調理場に従事する栄養士並びに調理員等の給食費であることを回答する。また、下段の調理場別は、各調理場が配食する学校の合計であり、職員分も含むことを回答する。
平野委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第の 5、議事(1) 学校給食調理場のあり方について

川名次長

事務局の説明を求める。

・現在市内の調理場は、2共同調理場と3単独調理場の合計5調理場となっている。市の基本計画では学校給食充実のため、施設設備の改善と給食施設の統廃合について検討することとなっていることを説明する。

・33ページ、学校給食調理場施設状況一覧について説明をする。

1. 4つの調理場が昭和50年代に建設されており、耐用年数を経過してきている。

2. 共同調理場の最大調理数は2,000食、単独調理場の最大調理数は1,000食となっている。

3. 5調理場全体で、20年前は5,889食、10年前で4,294食、現在は3,218食であり、20年間で約45%減少している。

・34ページ、学校給食調理場建物・主要物品状況一覧の大貫共同調理場について説明をする。

1. 建物の建設年度は昭和60年であり、耐用年数は8年残っている。

2. 温水ボイラー等、備品類も耐用年数が残っている物が比較的多い。

3. ガス回転釜・食器洗浄機は、耐用年数を20年近く経過している。

・35ページ、学校給食調理場建物・主要物品状況一覧の天羽共同調理場について説明をする。

1. 建物の建設年度は昭和53年であり、耐用年数は1年残っている。

2. 蒸気ボイラー・温水ボイラーは最近更新した。

3. しかし、多くの備品類が耐用年数を経過して、老朽化が進行している状況である。

・36ページ、学校給食調理場建物・主要物品状況一覧の青堀小・富津小・飯野小各単独調理場について説明をする。

1. 全ての建物が耐用年数を経過している。
2. 青堀小・富津小の温水ボイラー等、最近更新した備品類もある。
3. しかし、殆どの備品類が耐用年数を経過して、老朽化が進行している状況である。

・ 37 ページ、市内小・中学校児童・生徒数推移について説明をする。

1. 平成24年度の全小学校の児童総数は、2,015人だが、6年後の平成30年度には1,600人程度に減少する。
2. 平成24年度の全中学校の生徒総数は、1,203人だが、6年後の平成30年度には1,000人を割り込んでしまう。
3. 平成30年度には、小・中学校児童・生徒総数は、約600人減少し、2,600人程度になる。

・ 38 ページ、学校給食調理場別児童・生徒数推移について説明をする。

1. 青堀小学校調理場の児童分の食数は、平成24年度は574食が、平成30年度には534食になる。
2. 富津小学校調理場の児童分の食数は、平成24年度は260食が、平成30年度には191食になる。
3. 飯野小学校調理場の児童分の食数は、平成24年度は231食が、平成30年度には201食になる。
4. 大貫共同調理場の児童・生徒分の食数は、平成24年度は1,440食が、平成30年度には1,154食になる。
5. 天羽共同調理場の児童・生徒分の食数は、平成24年度は713食が、平成30年度には525食になり、青堀小学校調理場の食数より少なくなる。

・ 議事(1)についての質問を求める。

・ 耐用年数とは、物が壊れるまでの年数なのか、電化製品などと同じで、壊れなければ大丈夫と考えるのかとの質問がある。

・ 以下のとおり回答する。

1. ここでの耐用年数は、建物は補助金の返還が不要となる

平野委員長

岡根副委員長

木村係長

	<p>年数で、備品類は減価償却期間となっている。</p> <p>2. 大貫・天羽両共同調理場はRC造であり35年、3単独調理場はS造であり、鉄骨の厚みで年数が異なるが、最長で28年となっている。</p> <p>3. 備品類で耐用年数を大幅に経過している物もあるが、日常の手入れ及び部分補修を繰り返していることにより、現在も使用できている。</p>
平野延雄委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大貫・天羽両共同調理の1日最大調理数が2,000食ずつの計4,000食となる。38ページの資料16で市内小・中学校の児童・生徒数が3,218名となっているので、既に2つの共同調理場で賄えるのではないかとの質問がある。
川名次長	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のとおり回答する。 <ul style="list-style-type: none"> 1. 38ページの資料16は児童・生徒数のみであり、教職員等が約600食ある。合計3,900食程度となるが、市域を勘案すると大貫共同調理場の食数が2,000食を超えてしまう。 2. 給食配送用コンテナの収容場所が不足してしまう。
木村係長	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のとおり回答する。 <ul style="list-style-type: none"> 1. 大貫共同調理場は建設当初、大貫小・中学校及び吉野小学校のみ配食していたので、佐貫小・中学校及び富津中学校を加えた現在で、給食配送用コンテナの収納場所が限界になっている。 2. 青堀・富津・飯野小学校には、給食用コンテナの積降場所がない。 3. 1及び2の問題を解決するためには、改修工事が必要となる。 4. 3単独調理場の合計食数が、児童だけでも1,065食となり、大貫共同調理場の1,440食と合算すると2,505食となって1日最大調理数を大きく超えてしまう。 <p>天羽共同調理場から配送可能な佐貫小・中学校の食数が198食なので、天羽へ移行したとしても2,307食となるた</p>

<p>岡根副委員長</p>	<p>め、現在のところ、2共同調理場に集約することは不可能であると思われる。</p> <p>・現在の5調理場の今後の青写真のようなものが教育委員会にあるのか。話の方向だと3単独調理場は耐用年数が経過してもう直ぐ壊れ始める様なイメージで資料が作られているように感じる。それでいて今後の見通しについては検討するしか説明がなく、何を方向性として話し合う必要があるのかということが見えないとの質問がある。</p>
<p>川名次長</p>	<p>・以下のとおり回答する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童・生徒数の減少及び施設・設備の老朽化が進行する等を総合的に考えて、今後の富津市の調理場はこのような姿が1番望ましいというようにまとめて行っていただきたい。 2. 単独調理場の閉鎖ありきではなく、検討した結果最終的に存続すべきであるという結論になればそれで良いので、全部含めて今後の給食調理場のあり方、統廃合について検討していただきたいと考えている。
<p>岡根副委員長</p>	<p>・そうであれば、課題となっている内容であるとか、検討するための物差しのようなものがないと検討することは非常に難しいとの質問がある。</p>
<p>川名次長</p>	<p>・以下のとおり回答する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 課題的にはアレルギー食対応であるとか、自前での給食用食材の放射性物質検査であるとか、安心・安全の面で考えて行かなければならない。 2. 今後は皆様が必要と感じた資料があれば、事務局に連絡を頂きたい。調査・収集を行い随時配布していきたい。
<p>平野委員長</p>	<p>・会議次第の5、議事(2)その他について事務局の説明を求める。</p>
<p>川名次長</p>	<p>・事務局からはない旨回答する。</p>
<p>平野委員長</p>	<p>・この場で協議したい事項があれば発言するよう求める。</p>
<p>柴本委員</p>	<p>・給食の開始日と終了日が他市では学校毎に調整できると聞い</p>

木村係長	ているが、富津市でも可能かとの質問がある。 ・以下のとおり回答する。 1. 共同調理場は調理業務を民間に委託しているが、委託仕様書には学校毎に調理日を調整する旨の記載がない。 2. 近隣市の状況を調査して、本市でも学校毎の調理日の調整が必要であるか検討をする。
平野委員長	・他に協議事項もなく、議事を終了する。
川名次長	・今後の会議予定について、11月中旬頃に第2回、2月上旬頃に第3回を予定していることを連絡する。
高梨主幹	・平成24年度第1回富津市学校給食運営委員会の閉会を宣言する。